



信里だより

平成31年度 第2号
令和2年3月1日発行
<発行者>
信里地域委員会 調査提言部会
部会長 北澤 良子

信里地域委員会 部会事業報告

総務部会（部会長 島田 利男）

総務部会は区長が部会員となり、行政との連絡、情報の伝達等を主な仕事としています。

地域委員会事業の執行も担当し、その中には区長会より引き継がれ、隔年で行われている慰霊祭があります。遺族会の高齢化に伴い、総務部会が中心となって、招魂碑のあるところで執り行っています。この碑は信里小学校裏手の通称トトロ池のほとりにあり、昭和31年4月に建立され、143名が合祀祭神としてまつられています。ぜひ皆さんも訪れてみてはいかがでしょうか。

昨年は篠ノ井地区が台風19号豪雨により甚大な被害を受けました。幸い信里地区はほとんど被害がありませんでしたが、地すべり地帯をかかえています。駐在所が令和2年度に廃止され、交通安全協会や日赤奉仕団もありませんので、地域委員会全体で、民生児童委員、消防団、小学校とも連携して災害にあたる必要があります。地域の皆さんと訓練を含め、防災について真剣に考えていきたいと思ひます。

会計報告

地域委員会の今年度会計〔収入・支出（約370万円）〕の主な内訳は以下の通りです。詳細な決算報告は定期総会で行い、WEBサイト(<http://nobusato.net/>)にも掲載します。 単位：円

収入

負担金	1,257,000	各ご家庭のご負担金（419戸）
助成金等	1,459,454	篠ノ井住民自治協議会等 （内60万はやまざと支援金）
事業収入	80,000	懇親会費、コピー機利用料金
部会収入	21,500	赤十字奉仕団等
繰越金	886,189	今年度は公民館残金（62万円）含む

支出

部会	1,450,000	5部会の活動経費
団体助成金	302,000	地域団体への活動助成（全15団体）
役員手当	285,000	委員長他（17名）
事業費	153,535	慰霊祭、婚活等
やまざと支援金	600,000	草刈りなどの区活動費・有害鳥獣対策
その他	900,000	事務局、会議費、予備費※等

[予算段階の数字も含む]

※今年度は台風19号災害の義援金として篠ノ井地区へ50,000円支出しました。

地域振興・環境安全部会（部会長 北沢 英雄）

本年度から二部会（地域振興と環境安全）が統合しました。部会員の皆様には例年にも増して多くの活動にご協力いただきました。環境美化保全事業として、地区内ごみステーションの清掃維持管理また、地域内主要道路の草刈指導、愛の鉢運動として花の苗の配布も行いました。交通安全事業として、信里大運動会の駐車場案内及び交通整理、交通安全運動中の広報、街頭指導を行いました。

滞在型都市農村交流事業の手伝いをし、若林圃場管理として年3回の草刈、当日の入村式、稲刈り指導補助を行いました。本年は、台風19号の影響が心配されたため、日程を繰り上げ1日半という短い交流となり、トレッキングなどの行事が中止になった事は残念でした。来年度以降の事業の発展を望みたいと思ひます。



追記：キャプチャー会においては有害鳥獣の最終処分場（埋め立て地）を探して居ります、軽トラでそのまま行くことが出来る場所をよろしくお願い致します。

社会福祉部会（部会長 野沢 佐智子）

今年度社会福祉部会は、「信里の地域の皆様がいつまでも自分らしく元気に過ごせるように」を目標に活動してきました。当部会は、各地区でお茶飲みサロンやふれあい会食を開催し、またのぶさと祭りを教育公民館部会と共催しました。多くの方に楽しい時間を過ごしていただけたのではないのでしょうか。

部会員は各種講習会に参加し、レクリエーションやはつらつ体操の大切さを理解して、月2回開催の脳活サロンに活かすべく工夫・努力してきました。今後より一層多くの方が楽しめる魅力ある脳活サロンにしていくために、まずはこの活動を続けていくことが大切だと思います。まだまだ課題はありますが、次年度の部会員の皆様の活躍に期待します。今後はOGとして、部会員の皆様のお手伝いをしたいと思ひています。1年間社会福祉部会へのご協力ありがとうございました。



若林区ふれあい会食の様子

◇移住者紹介◇

有旅地区 岸田 豊さん

この度、令和元年5月より、愛知県豊田市から移住して参りました岸田豊と申します。篠ノ井地区は両親の出身地ということもあり幼少から親しんできましたが、3年前に他界した叔父が運営していたりんご園の経営を受け継ぐため移住してきました。

りんご栽培は最初は解らないことが多少ありましたが、私は本来造園の職人ですので、その技術を応用し昨年度なんとか出荷することができました。りんご園の運営と並行して、造園の技術を高めるべく、川中島にある“あゆみ園”という造園会社にお世話になり、庭師としての活動も続けています。長野に来て信州の美しい造園技術も学ぶことになり貴重な経験をさせていただいております。

今後、りんご園と造園職人の両立は大変ですが、少しでも地域の皆様への貢献と、自分自身の技術の向上のために努力する所存であります。皆様よろしくお願ひ致します。



◇地域おこし協力隊活動報告◇

〔2020年地域おこし協力隊としての3年間〕 渡邊 昌佐樹

新しい年を迎え、あと数ヶ月で地域おこし協力隊としての任期も終了いたします。2017年5月29日にぎりぎりの日程でこの地に越してきました。その理由は、直前まで家が見つからなかったからです。家が見つかったと聞いたのが5月のGW。たまたまその時、長野に来ていたので、その家を拝見に行きました。今だから言えますが、とても住める家ではありませんでした。（荷物満載、床は腐って抜けている、脱衣所の洗面台も腐食している・・・）そこから20日程度でなんとか数部屋使える状態にさせていただきました。

なぜ、今になってこんなことを？というのは、次に協力隊を迎え入れる場合、このようなことを繰り返してほしくないからです。住む家は重要です。何でも良い、という人は極まれだと思います。この地区に協力隊が必要であるのなら、しっかりと住める家を用意してあげてほしいのです。

前置きはさておき、あっという間の3年間でした。信里、特に私の住んでいる瀬成はとても住みやすいところです。自分の趣味を満喫するにはもってこいの環境です。以下、信里の良さ（個人的）をいくつか挙げてみます。

- ①市街地に近く、車さえあれば不便を感じない立地条件。
- ②住民の方が過干渉ではなく、良い感じの距離感を保っている。（地方の田舎によってはずかずか勝手に家まで入ってきて勝手にお茶を飲んで待っている、なんて所もあります。）
- ③親切な方が多い。（民泊などで受入れ生徒への対応を見ているとそのように感じます。）
- ④夏は涼しく、冬も我慢できないほど寒くなく、思ったより雪も少ない。

こうやって書いてみると、特に特徴的なことではなく、極当たり前のこと、と住んでいる皆さんは思うかもしれませんが、その当たり前のことが大切だと思います。また、この地域の若者が、市街や県外に出るのは解るのですが、信里を出てその近辺に移り住んでしまうのが不思議です。新たな移住者を増やすよりも、若者が出て行かない対策こそ大事かな？とあってしまいました。

とりとめない文章になりましたが、この近辺で就職さえ決まれば、今後も瀬成に住んでいたいと思っています。

調査提言部会より

昨年4月に調査提言部会が発足いたしました。そこで広報作りと空き家調査という仕事を依頼されました。広報作りでは投稿された皆様にはご協力を頂き、第1号、第2号と作成することができました。有難うございました。空き家調査では各地区の区長様にご協力を頂き見回り調査をしました。現状を確認し、先々のことを考えさせられました。

女性の目から見た課題は、10年後を見据えて楽しく暮らすための地域づくりを考える必要があると思いました。

〔小山清茂展示室第4回コンサート開催〕～ご支援誠にありがとうございました～

特別運営委員会 委員長 大久保 邦良

突然の台風19号による大災害発生を受けた状況下、真剣に協議の結果、急遽チャリティコンサートに切り替えての実施となりました。

ご理解ご支援をいただいて10月27日（日）村山健康スポーツセンターにて、180名超の来場者の皆様と共に清茂先生ワールドに浸りました。

杉山由一氏の透明感あふれるフルート演奏、信里小学校5・6年生の清明な合唱、地元信里混声合唱団「翼をください」等の合唱、加えて飯綱コーラスによる情感満載の歌声に大感動でした。

尚当日集まった義援金75,649円は篠ノ井住民自治協議会に寄付致しました。

